

年 組 名前

2021年2月1日付市民版

魚の群れがグルグルと竜巻のように渦巻く「マイワシのトルネード」。下からのぞくと、ほら、台風目のように中心がくっきりと見えまし

た。水槽越しには正面からしか見られないけれど、躍動感たっぷりのマイワシたちはどの角度から見ても迫力満点だね。

おなかがきらきら輝くのは、外敵から身を守るため。下から食べたりする風習もあるそう

です。えっ、恵方巻きの具にして食べたいって？ おやおや、外敵は水槽の外にもいるよっだね。

写真・大橋脩人
文・角雄記



マイワシのトルネード

外敵かわすきらきら

マイワシ ニシン目ニシン科。日本周辺や南シナ海北部などに分布。春から夏は北上、秋から冬は南下する。成魚は20センチほど。通常5～6年ほど生きる。名古屋港水族館は3万5000匹を飼育。光と音楽に合わせて群れて泳ぐ「マイワシのトルネード」は名物イベント。

※ 大人の人に記事を読んでもらって考えましょう。

問い：マイワシのおなかがきらきらかがやくのは、敵から身を守るためです。どうして守れるのでしょうか。

Empty rounded rectangular box for student response.